

# カワセミ通信



NO.8



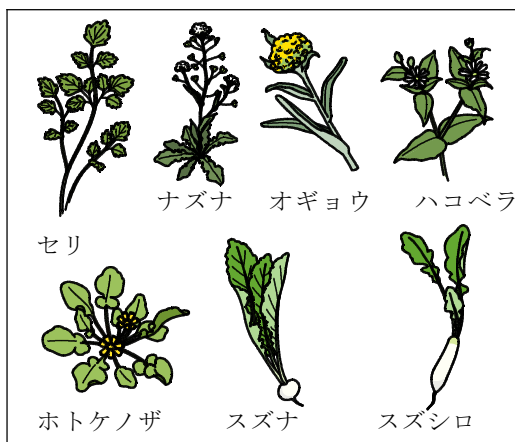
発行：彩湖自然学習センター

発行日：H. 22. 1. 8

～明けましておめでとうございます～

七草がゆは、もう食べましたか？正月7日の朝、七種の草を刻んで入れたおかゆを食べる習慣は、古く室町時代から伝えられた行事の一つだそうです。セリ、ナズナ(ペンペン草)、オギョウ(ハハコグサ)、ハコベラ(ハコベ)、ホトケノザ(コオニタビラコ)、スズナ(カブ)、スズシロ(ダイコン)。これらの七草は、早春にいち早く芽吹くことから邪気を払うといわれました。そこで、無病息災を祈って七草粥を食べたのです。でも、実は、科学的な根拠もあるのです。例えば、「セリ」には、鉄分が多く含まれているので増血作用が期待できます。また、「スズナ」や「スズシロ」には、ジアスターゼという成分が多く含まれ、消化を促進します。このように「七草がゆ」には、お正月のおせち料理で疲れた胃を休め、野菜が乏しい冬場に不足しがちな栄養素を補うという効果があります。

センターでは、1日早く、6日に「春の七草がゆ」の講座を行いました。野外で観察会の後(お土産用の採集も)参加者全員で春の七草がゆを味わいました。(T)



## 季節の生き物

### モズのはやにえ

秋になると、すっかり葉を落とした木の枝に、ミミズやバッタが串刺しにされているのを見たことはありませんか？これは偶然にできたものではなく、ある生きものがせっせと作ったものなのです。この作成者はモズという野鳥です。見た目は可愛らしいモズですが、肉食の野鳥で、狩りの名人。とらえた獲物を、木のとげや枝先などに突き刺しておく習性があります。これを「モズのはやにえ(早贄)」といいます。何でそんなことをするのか？冬の食料を蓄えている、獲物を固定して食べやすくしている、なわばりの目印、本能的に…などあれこれ理由は考えられますが、本当のところはモズに聞いてみないと分かりませんね。(N)



## 飼育日誌 (カブトムシ)

センターで夏に展示していたカブトムシが卵を産みました。現在までの飼育状況をご報告します。

【11月4日】4匹の幼虫を発見！【11月16日】幼虫が大きくなってきたので、かごを2つに分けてクヌギの朽ち木などが入った昆虫マットを加える

(カブトムシの幼虫は朽ち木を食べるので、たくさん入れてあげると大きくなるそうです)。【11月20日】季節を間違えてさなぎにならないよう、外の気温に近い地下へ移動させる。【11月24日】湿度が変化したためかカビが発生。カビを丁寧に取り除き、新しい昆虫マットに交換する。【現在】カビないように、乾燥しないように注意しながら、週1回程度で水分の補給をしています。茶色のころんとしたフンが見られるようになり、たくさん朽ち木を食べているようです。大きいもので丸まった状態で直径4cmになりました。このまま元気にさなぎ・成虫になってくれるといいなあ。(I)



## お知らせ (1月の講座)

1/16(土) 親子ふれあい教室 ※雨天中止

「秘密の基地づくり」 対象:親子(小学生以上) 30名

子どものころ誰もが一度はあこがれた秘密基地。センター近くのアシ原に入り、秘密の基地をつくります。お父さん、お母さん子どもにかえって一緒に参加して下さい。

○時間:10:00~12:00

○持ち物:剪定はさみ(大人のみ)、軍手、温かい飲み物

○参加費:100円(保険代)※定員まであとわずかです。申込みはお早めに!



1/17(日) 野鳥観察会 ※雨天実施

「彩湖周辺の野鳥・厳冬」 対象:一般・親子 20名

寒さは厳しい時期ですが、彩湖は冬鳥でにぎわっています。バスに乗って彩湖岸を移動します。初心者の方も大歓迎です。講師の先生が丁寧に教えてくれます。防寒対策をお忘れなく。

○時間:10:00~12:00

○持ち物:双眼鏡(貸出可)

○参加費:100円(保険代) ※防寒対策を忘れずに!



★申込方法:彩湖自然学習センターへ電話申込みか直接ご来館ください。(3階事務室)  
なお、申込みは、講座の1か月前から受け付けています。

**多数の参加をお待ちしています!!**



センターの  
ホームページ  
を見てね!

戸田市立図書館・郷土博物館分館彩湖自然学習センター  
〒335-0031 埼玉県戸田市大字内谷2887番地  
Tel:048-422-9991 FAX048-422-9993  
URL:<http://www.city.toda.saitama.jp/433/432448.html>  
E-mail:[kyo-saiko@city.toda.saitama.jp](mailto:kyo-saiko@city.toda.saitama.jp)